

令和6年度 授業計画書（シラバス）

分野	専門分野		開講時期	3年後期	
授業科目名	看護の統合と実践		単位数	2 単位	
	臨床看護の実践		時間数	45時間	
講師名	片山 貴晶	所属	岩手県立磐井病院	資格・免許	医師免許
		職名	医師		
講師名	小野寺 康	所属	岩手県立磐井病院	資格・免許	看護師免許
		職名	看護師		
講師名	小野寺 真理	所属	岩手県立一関高等看護学院	資格・免許	看護師免許
		職名	専任教員		
事前学習内容					
テキストの授業内容に関連する部分を学習しておく					
科目全体のねらい					
看護技術の総合的な評価を行い、臨床判断を行うための基礎的能力を身につける					
教育目標との関連					
(5) 看護師としての責務を自覚し、高い倫理観をもって看護を実践することができる。					
(6) 科学的根拠に基づき、健康状態や生活の場に応じた看護を実践することができる。					
科目目標					
基礎的な看護技術を確実に実施する					
習得した基礎看護技術を用いて、看護の臨床判断能力を向上する					
回	授業内容			講師	方法
1	救急法①			片山	講義
2	救急法②			片山	講義
3	BLSトレーニング①			片山	演習
4	BLSトレーニング②			片山	演習
5	トリアージ①			小野寺	演習
6	トリアージ②			小野寺	演習
7	複数患者の看護ケアの実践 ①患者個々のケア計画の立案			小野寺（真）	演習
8	複数患者の看護ケアの実践 ②患者個々のケア計画の立案			小野寺（真）	演習
9	複数患者の看護ケアの実践 ③複数患者間の行動計画の立案			小野寺（真）	演習
10	複数患者の看護ケアの実践			小野寺（真）	演習
11	割り込み状況に応じた対応 ①予期しない患者の反応 ②突発的な事態 ③時間の切迫			小野寺（真）	演習
12	割り込み状況に応じた対応の実践			小野寺（真）	演習
13	状況に応じたチームメンバーとの連携 ①連携を必要と判断する時と判断基準 ②連携の内容			小野寺（真）	演習
14	状況に応じたチームメンバーとの連携の実践			小野寺（真）	演習
15	臨床実践に近い状況下での看護技術の実施 入院時の看護			小野寺（真）	演習
16	臨床実践に近い状況下での看護技術の実施 呼吸苦のある患者の看護			小野寺（真）	演習
17	臨床実践に近い状況下での看護技術の実施 胸痛のある患者の看護			小野寺（真）	演習
18	臨床実践に近い状況下での看護技術の実施 腹痛のある患者の看護			小野寺（真）	演習
19	臨床実践に近い状況下での看護技術の実施 意識障害のある患者の看護			小野寺（真）	演習
20	臨床実践に近い状況下での看護技術の実施 アナフィラキシーショック時の看護			小野寺（真）	演習
21	臨床実践に近い状況下での看護技術の実施 技術演習			小野寺（真）	演習
22	臨床実践に近い状況下での看護技術の実施 技術演習			小野寺（真）	演習
23(45分)	まとめ			小野寺（真）	
受講上の注意				評価方法 救急法20点 トリアージ10点 臨床実践70点	
使用するテキスト					
系統看護学講座 別巻 救急看護学（医学書院）					
参考文献					